

令和4年度「品目団体輸出力強化支援事業」のうち日本産果実マークに偽造防止処理を施したシールを活用した日本産青果物宣伝事業報告書

日本流通管理支援機構株式会社
数田陽子
2023年3月15日

目次

- エグゼクティブサマリー
- 偽造防止シールの認識状況
- 情報提供部分(QRコード)のスキャン状況
- シール配布先企業
- Appendix

エグゼクティブサマリー

- 全期間(2022年7月1日～2023年3月15日)を通じて模倣品、疑いの検出はございません。
- 模倣品に関してはこのシールの認識がされてから、偽造されることにより検出可能になります。今は認知・拡大のフェーズですので、引き続き利用の促進・改善を行っていく予定です。
- 偽造防止シールは以下の地域で認識されました。期間中2か国(日本、韓国) 2地域で12回スキャンされています。
- 情報提供部分のQRコードに関しては1か国、6地域、25回スキャンがされています。

【事業内容】 タグを使った情報配信 & 産地証明

青果物に偽造防止技術を施したQRコードつきシールを張り付ける事で世界の消費者、バイヤー様に多言語で情報を伝える。

偽造防止部分
万が一の際、
日本産証明が可能

情報提供部分
日本産果実の販促
アピールが可能

日本産青果物の情報・旬など

指定サイトへの誘導

QRコードのLPは多言語対応(中・英・日)
日本産青果物の説明や旬の時期等が記載されている
専用アプリですぐに日本産かどうかの確認ができ、特別な検査や書類を揃えなくてもある程度の証明は可能
日本産証明に時間と手間をかけることなく、お客様にも迷惑をかけない

偽造防止シールの認識状況

- 正常 100%(令和4年当初分)
- 疑いなし、模倣品なし

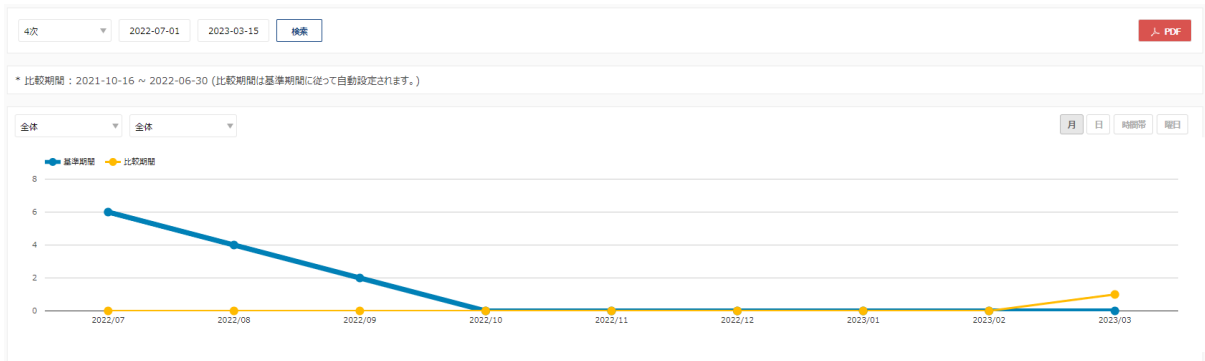
◆ 期間別の認識モニタリング: 令和3年分(期間:2022年7月1日～2023年3月15日)



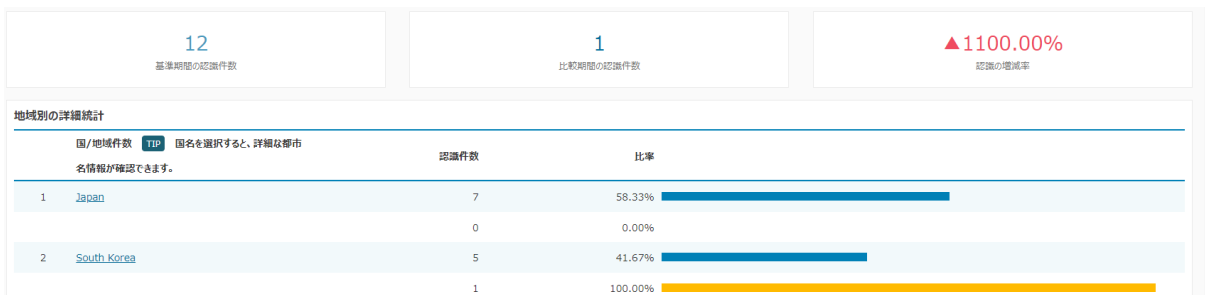
期間別の商品認識リスト

期間	正常	比率	疑い	比率	模倣品	比率
2022/7	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%
2022/8	4	100.00%	0	0.00%	0	0.00%
2022/9	2	100.00%	0	0.00%	0	0.00%

◆地域別の認識モニタリング: 令和3年分(期間: 2022年7月1日 ~ 2023年3月15日)



※全体(正常品・疑い・模倣品)の認識モニタリングで出していますが、100%正常品のスキャンのため全体スキャン数は正常品のスキャン数と同じです。
黄色は比較期間: 2021-10-16 ~ 2022-06-30 (比較期間は基準期間に従って自動設定されます。)



偽造防止シールの地域別認識状況



偽造防止シールは以下の地域で認識されました。期間中2か国 2地域 12回スキャンされています。

年度	国名	地域	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年11月	総計
令和4年	Japan	Tokyo		1	4	2		7
	Japan の合計			1	4	2		7
	South Korea	Seoul		5				5
	South Korea の合計			5				5
令和4年の合計				6	4	2		12

QRコードのスキャン状況



情報提供部分のQRコードに関しては8か国、29地域、98回スキャンがされています。

国名	地域	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	総計
Japan	Aichi				2							2
	Ōsaka			1								1
	Saitama			1								1
	Shizuoka			1								1
	Tokyo			17			2					19
	Yaman			1								1

	ashi			
Japan の合計	21	2	2	25
	21	2	2	25

シール配布先企業

令和4年補正分 30,000枚

- 日本青果物輸出促進協議会 (FL,UAE) 1,500
- 全農インター 5,400
- 山梨県果実輸出促進協議会合計 3,350
- えひめ愛フード推進機構 3,250
- 山形県果実等生産出荷安定協議会 700
- 和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会 850
- GLO 2,500
- 日本園芸農業協同組合連合 7,500
- アライドコーポレーション 4,250
- JTB(レシピ+SNS) 750
- (公財)徳島県農業開発公社) 700
- 日本農業 5,250
- 三重県農林水産物・食品輸出協議会農産部会 3,250

Appendix

◆真贋判定、QRコード

課題	内容の擦り合わせ、統一
施策	1. データ作成 → 2022年7月済 2. データ入力(偽造防止タグ、QRコード)・サイト → 2022年8月済 3. シール納品 → 2022年8月2日 30,000枚 4. 監視・報告 → 2022年8月(2022年9月5日) → 2022年9月(2022年10月7日) → 2022年10月(2022年11月8日) → 2022年11月(2022年12月6日) → 2022年12月分(2023年1月9日) → 2023年1月分(2023年2月6日) → 2023年2月分(2023年3月6日) → 全体分(2023年3月15日)

◆運用の改善

課題	使用方法、認知の拡大
施策	<p>1.委託先連絡会 →2022年6月24日</p> <p>2.日本の食品輸出EXPOにて取組の紹介 →2022年6月22日～24日</p> <p>3.第2回青果物部会(委託先説明) →2022年10月7日</p> <p>4.包装資材への印刷調査 →2022年11月25日～30日</p> <p>5.偽造防止加工付き「日本産果実マーク」シール 説明資料(日本語&英語) →2023年1月6日</p>